

授業改善等に関する報告書（2019年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2019（後期）図書館学過程] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
情報サービス論	安藤 友張	自由記述に書かれた意見を取捨選択しつつ、今後の授業改善の参考としたい。教科書の使用については、今後の検討課題としたい。
情報メディアの活用	安藤 友張	自由記述に書かれた意見を今後の授業改善の参考にする。しかし、一部の学生の授業時間中の受講態度には決して看過できないものがある。あくまでも少数の一部の学生に過ぎないが、授業担当者から、当該学生に対して強く反省を求める。
情報メディアの活用	安藤 友張	自由記述に書かれた意見を今後の授業改善の参考にする。しかし、一部の学生の授業時間中の受講態度には決して看過できないものがある。あくまでも少数の一部の学生に過ぎないが、授業担当者から、当該学生に対して強く反省を求める。
児童図書館サービス論 b	須賀 千絵	授業の総合的満足度は4.22点であったが、双方向授業の工夫、声や言葉の聞き取りやすさの項目がいずれも3.89点とやや低い傾向が見られた。前者については、実習を多く組み込んだ授業ではあるが、レポートで実習の感想等を報告させる方式であったので、双方向と感じられなかったものと思われる。今後は授業内での学生とのやり取りを増やしていきたい。
学校図書館メディアの構成	安藤 友張	自由記述に書かれた意見を今後の授業改善の参考にする。しかし、一部の学生の授業時間中の受講態度には決して看過できないものがある。あくまでも少数の一部の学生に過ぎないが、授業担当者から、当該学生に対して強く反省を求める。
児童図書館サービス論 b	須賀 千絵	総合的満足度、授業の内容と方法の項目はいずれも4点以上で、アンケートで見える限り、授業進行上の問題はあまり見られなかった。ただし回収率は50%程度にとどまり、全体の傾向を把握できたとは言えない。今後、アンケートへの積極的参加を呼び掛けたい。
情報サービス論	安藤 友張	自由記述に書かれた意見を取捨選択しつつ、今後の授業改善の参考としたい。教科書の使用については、今後の検討課題としたい。
図書館情報資源概論 b	須賀 千絵	授業の内容と方法の項目は、いずれも4点以上で、学生からの授業進行上の問題点の指摘はあまりなかった。しかし一方で満足度は3.86点であり、主体的に関心をもって学ぶというより、必修のため義務的に学んでいるという態度がみられた。ただし回収率が低く、全体の動向を把握できなかったため、今後、アンケートへの積極的参加を呼び掛けたい。
図書館情報資源概論 b	須賀 千絵	授業の内容と方法の項目、全体の満足度は、いずれも4点以上で、学生からの授業進行上の問題点の指摘はあまりなかった。ただし学生の半数以上が自宅学習時間を週1時間以下と回答しており、自宅学習時間の不足がみられた。学生の関心に応じて、発展的学習に役立つ資料の紹介するなど、自宅学習を充実させる工夫を試みたい。
図書館制度・経営論	松尾 昇治	受講生のみなさん 図書館経営を教室のなかで説明するのは難しい面がありますが、制度・経営の基礎的なことを学べたと思います。今後、公共図書館を利用するときに図書館の内側（図書館統計や条例規則など）にも目を向けて理解を深めてください。 松尾
図書館制度・経営論	須賀 千絵	授業の内容と方法の項目、全体の満足度は4点以上で、全体として満足できる結果であったものの、アンケートの回収率が低く、全体の意見を集約できたとは言えない。全体の意見を聞くことができるよう、アンケートへの参加を積極的に呼びかけたい。
情報資源組織法 1 b	松尾 昇治	受講生のみなさん 後期は目録法の基礎が学びました。練習問題を多く解いてもらいましたが、良く理解できていたと思います。書誌情報は目録法をもとにつくられていますので、図書や資料と出合うときに書誌の事項を適応してみてください。松尾